

平成28年度後期学校評価について

～ 後期の成果と反省を生かし、「笑顔まんかい」の平井っ子の育成をめざして、今後もしっかり取り組んでいきます～

今年1月に実施しました学校評価アンケート（後期）にご協力いただき、誠にありがとうございました。前期と同様、後期も高い評価をいただきましたことは、保護者の皆様の本校教育に対する期待の大きさであると真摯に受け止めております。以下に結果と対策等についてご報告いたします。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【引き続き、次の点に力を入れていきます】

前期の結果をふまえ、後期には、①学力の向上、②読書活動、③望ましい人間関係づくり、④基本的生活習慣の定着に重点的に取り組みましたが、後期アンケートの結果は以下のとおりでした。引き続き、この4項目を重点取組事項として取り組んでいきます。（提出率97.0%）

重点取組事項	指標（アンケート項目）	前期	後期	差	達成
①学力の向上	(児1) 読んだり書いたり研鑽したりなどの力が身に付いている	3.49	3.62↑	0.13	○
	(保4) 子どもは、読み書き計算などの基礎的な学力が身に付いてきている	3.22	3.37↑	0.15	○
②読書活動	(児12) よく読書をしている	3.17	3.24↑	0.07	○
③望ましい人間関係づくり	(児7) だれかがつらい思いをしているときは、一緒に考えたり、励ましたりしている	3.52	3.55—	0.03	—
	(保7) 子どもは誰かがつらい（悲しい）思いをしているとき、一緒に考える姿がある	3.20	3.20—	0	—
④基本的生活習慣の定着	(児3) だれにでも元気にあいさつをしている	3.46	3.60↑	0.14	○
	(保3) 子どもは、基本的な生活マナー（挨拶、言葉づかい等）を身に付けている	3.01	3.03—	0.01	—

※得点については、「あてはまる」を4、「大体あてはまる」を3、「あまりあてはまらない」を2、「あてはまらない」を1として換算し、その平均を出したものです。なお、「わからない」は除いています。

なお、評価の分析と具体策は以下を、また、評価の詳細は、別添資料をご覧ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

1 児童アンケートから（2月初めに実施）

児童に対して2月初めに学級でアンケートをとり、自分の生活を見つめ直す機会としました。

(1) 評価の高かった項目（3.85以上）

評価がとても高かった項目は、次のとおりです。

- 1 「学校（先生）は、自分や相手の心を大切にし、命を大切にすることを教えてくれる」（3.93）
- 2 「登下校や日常での交通事故に気を付けている」（3.93）
- 3 「学校（先生）は、決まりや約束を大切にするようにいつも注意してくれる」（3.90）
- 4 「学校（先生）は、分かりやすく勉強を教えてくれる」（3.89）

(2) 今後考えていきたい項目（3.3以下）

児童が生活を見つめ直した結果、評価が低かった項目は、次のとおりです。

- 1 「宿題や学習用具の忘れ物をしていない」（3.16）
- 2 「よく読書をしている」（3.24）
- 3 「自分の考えや思いをはっきり相手に伝えている」（3.25）

(3) これまでの取組と今後に向けて

① 基礎・基本の学力の定着を図り、学力の向上を目指します。

- 話の聞き方や姿勢など学びの態度づくりを改めて指導し、じっくりと落ち着いて学習に取り組むことや児童同士の学び合いのある授業を意識して取り組みました。
- 学力充実タイムでの複数の教師による指導や個別指導の時間の取組を継続しました。
- ▲ 宿題や自主学習の内容、量を見直しましたが、家庭学習の習慣化は、もう一歩でした。
- ☆ 「分かった」「できた」という実感をもてる授業、「もっとやりたい」と意欲がわく授業を目指し、今後も取り組んでいきます。また、学習内容が定着するように、家庭学習の習慣化（「10分×学年+10分」以上）についても継続して指導を行い、忘れ物の防止にもつないでいきたいと考えています。ご家庭でのお声かけ、時間や場の確保等、ご協力をお願いします。

② 読書活動に力を入れます。

- 市立図書館と連携し、毎月新しい本の紹介をしました。
- 学年の目標冊数を決めたり、各学級で図書室に行く時間を決めたりして、本との出会いを意図的につくりました。また、毎週月曜日の朝読書等、読書時間を確保しました。
- ▲ 読書への関心意欲については、個人差が大きいようです。
- ☆ 本校では、「てぶくろの会」や保護者の皆様による読み聞かせが計画され、年間を通して実施いただいています。誠にありがとうございます。心も体も大きく成長する小学生の時期に、よい本との出会いができるよう今後も読書活動に力を入れていきます。
ぜひ、ご家庭でも家庭読書の推進にご協力をお願いします。



2 保護者アンケートから（1月末に実施）

（1）評価の高かった項目（3.6以上）

とても高い評価をいただきました。評価がとても高かった項目は、次のとおりです。

- 1 「子どもを平井小に通わせてよかった」（3.76）
- 2 「子どもは、楽しく学校に通っている」（3.69）
- 3 「学校は、学校便りや学級通信などによって、きめ細かに情報提供を行っている」（3.61）

（2）今後考えていきたい項目（3.2以下）

どの項目も高い評価をいただきましたが、今後考えていきたい項目は、次のとおりです。

- 1 「子どもは、挨拶などの基本的な生活マナーを身に付けている」（3.03）
- 2 「子どもは、誰かがいじめや人権侵害を受けているとき、それを止める姿がある」（3.12）
- 3 「子どもは、誰かがつらい思いをしているとき、一緒に考える姿がある」（3.20）

※この3項目については、前期と同じでした。

（3）これまでの取組と今後に向けて

③ 児童の望ましい人間関係づくりを進めていきます。

- 豊かな心を育てる「道徳の時間」の授業づくりについて、職員で研修を重ねてきました。また、自分や他の人のよさ、違いを認め合う人権学習や全学年での交流活動（にこにこタイム等）を計画的に実施しました。
- いじめの早期発見や解消のために、いじめ相談アンケート（スマッピーチェック）を定期的に実施しました。アンケートの結果をもとに、児童と教育相談を行ったり、職員で情報を共有し、解決に向けて取り組んだりしました。
- ▲ 困っていることや悩みがあっても、アンケートに書かずに我慢をしている児童がいました。また、学校が楽しくないと感じている児童も数名いました。
- ☆ 今後も児童のよりよく生きたいという思いを育てる道徳教育を大切にしていくとともに、いじめの未然防止と早期解消、望ましい人間関係づくりに更に力を入れていきます。
ご家庭でも、お気付きの点やご心配なこと等がありましたら、遠慮なく学校までご相談ください。

④ 基本的な生活習慣の定着を目指していきます。

- 月2回のさわやか検査（ハンカチ、つめ、朝食摂取等の調査）を継続しました。
- メディアコントロール週間（2回目：11/14～18）の実践活動に取り組みました。
- 児童会と連携してあいさつ運動を推進しました。また、児童のがんばりを職員がしっかりと認めることで、児童自身があいさつのよさに気付き、実践できるようにしました。
- ▲ あいさつについては、自分から進んでできる児童が増えてきましたが、「いつでも」「どこでも」「誰にでも」できるように、引き続き取り組む必要があります。
- ☆ 基本的な生活習慣を身に付けることは、児童の健やかな成長（心身の健康・学力の向上）につながります。学校でもこの取組を続けますので、ご家庭のご協力をお願いします。



保護者の皆様からいただきました学校への評価やご意見等をもとに、今後も全職員で以上の取組を行っていきます。取組についてのご意見等ございましたら、遠慮なく学校までご連絡いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

- 結果の詳細は、資料①-1（保護者結果集計）及び資料①-2（児童結果集計）
- いただいたご意見は、資料②をご覧ください。